



# パックイフ

外壁貫通設置型

## 取扱説明書

## 31-760型

保証書付

法定型式 VBB2型

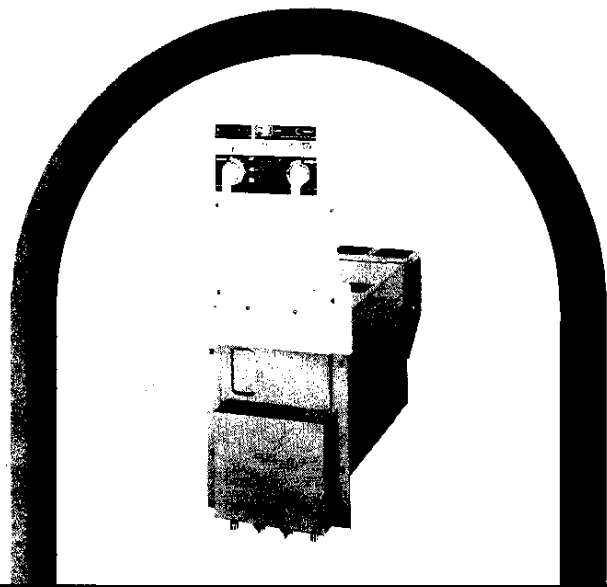
### ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスシャワー機能付  
ふろ釜をお求めいただきありがとうございますま  
した。

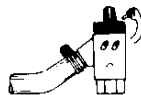
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を  
大切に保存してください。

### もくじ

- 各部の名称..... 2
- 特に注意していただきたいこと..... 3
- 器具の設置..... 7
- 使用手順..... 8
- 使用時のご注意..... 11
- 日常の点検・手入れ..... 14
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 15
- アフターサービスのお申し込み..... 16
- 特長..... 17
- 寸法図と仕様一覧表..... 18
- 別売部品のご紹介..... 20
- MEMO..... 21
- 本製品と快適なくらしのために..... 22



### ガス器具をお使いになるときのご注意



ガス器具を  
お使いになった  
あとは必ず  
ガス元せんも  
開める習慣を



排水せん  
のしめ忘れに  
ご注意ください



ガス器具は  
ガスの種類にあった  
正しいものを

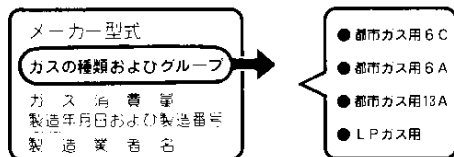
● ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の正面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

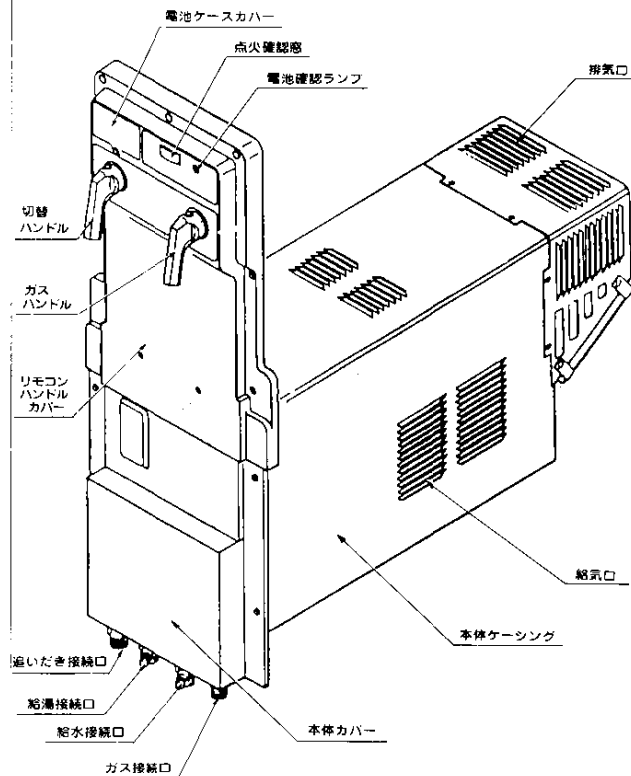
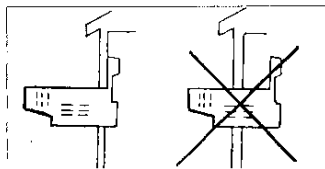
用途について

- 給湯・シャワー・追いだし以外の用途には使用しないでください。

使用場所

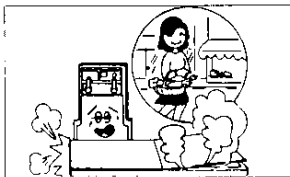
●器具の使用場所について

この器具は外壁貫通式ですから、必ず外壁に貫通して設置し、給排気が直接屋外でおこなえるようにしてください。



●火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

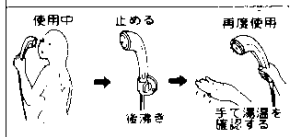
●排気口のそばに燃えやすいもの（洗たくもの、揮発油など）を絶対においたり、近づけたりしないでください。



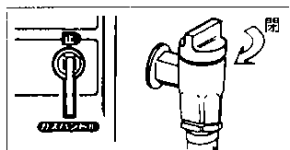
●使用中および使用後は、炭質の排気口は熱くなります。手をふれたりしないでください。



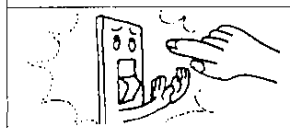
●シャワーを使用後、再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかけて、手で湯温を確認してからお使いください。器具の後沸きによって一瞬熱いお湯があることがありますのでご注意ください。



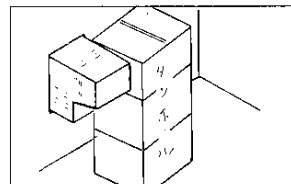
●ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止し、ガス元せんを閉じ、絶対に使用しないでください。



●万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等）しないでください。



②可燃物の壁や物から十分離れている場所で使用してください。

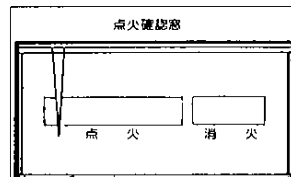


③詳しくは「工事説明書」を参照してください。

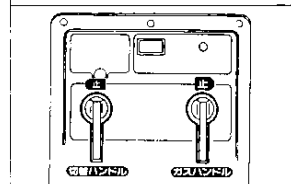
●器具の使用地域について

井戸水や硬度の高い硬水地域では使用できないことがあります。くわしくはお買い求めの販売店、または大阪ガス社におたずねください。

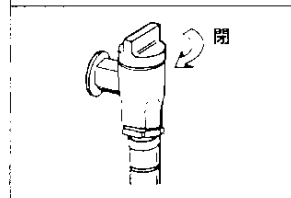
●使用中にバーナが確実に燃焼しているか、点火確認音が確認されているか、点火確認音が確認されているか、点火確認音が確認されているか。



●使用後は必ずリモコンハンドルの切替ハンドル・ガスハンドルを「止」の位置に戻してください



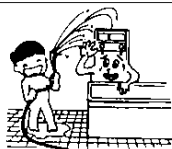
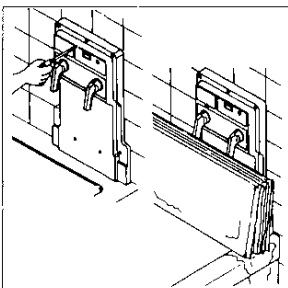
●お出かけやおやすみ前には、万一の事故がないように必ずガス元せんを閉めてください。



- リモコンハンドルは防湿構造になっていますので、リモコンハンドルカバーは絶対に外さないでください。

- 浴そうのふたなどをリモコンハンドルに当てないでください。

- リモコンハンドルに直接水がかからないように注意してください。



- 正しく設置されているかどうか、工事説明書を参照の上お客様自身でご確認ください。

- 給水・給湯・ふろの接続工事は専門の工事業者におまかせください。

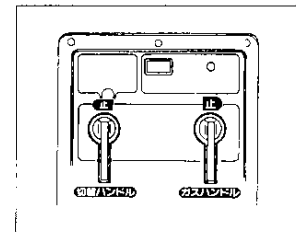
- 強化ガスホース接続になっていますので、大阪ガスにおまかせください。

- 厳寒期には器具内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は凍結を防止する処置を必ずおこなってください。(凍結防止処置については13ページを参照)

- 凍結したときは

- ①器具や配管が、破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。
- ②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
- ③凍結が溶けた後、水もれがないことを確認の上ご使用ください。

- 使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、ただちに使用を中止(カスハンドルを「止」位置に戻)して十分な点検をお願いします。



(故障・異常の見分け方と処置方法については15ページをお読みください。)

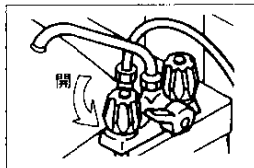
- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。

(点検、手入れの方法については14ページをお読みください。)

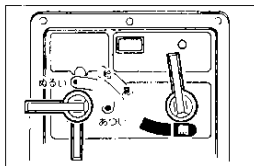
- 硫黄系の人浴剤はフロアダプターが腐食する原因となりますから、使用しないでください。

- ガスハンドルを「1」へ回したときに、電池確認ランプが光らなくなれば、電池が消耗していますので乾電池（単一）を取り替えてください。詳しくは11ページ「乾電池交換のしかた」をお読みください。
- 点火操作中は給湯せんを閉め、切替ハンドルを「止」の位置に合わせておいてください。

- ①給湯せんを開けると自動的にメインバーナに着火しお湯が出てきます。
- 〔ご注意〕高温出湯タイプのため湯量は1分間に4ℓ程度です。



- ②湯温調節は切替ハンドルまたは、混合水せんで調節してください。
- 切替ハンドルを「ぬるい」、「あつい」の位置にあわせると、ガスの量が変わります。季節・用途に応じてお使いください。

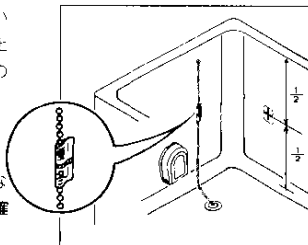


- ③給湯せんを閉めますとお湯が止まりメインバーナの火は消えます。このときパイロットバーナの火は燃えていますから、つきにお使いになるときは給湯せんを開くだけでメインバーナに着火しお湯が出てきます。

- ①この器具は高温水で追いたきをおこないますから追いたき中、浴そうの水位が上昇します。水温により沸きあがったときの水位が異なりますので、

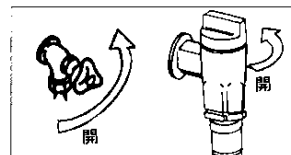
夏は半分より多い目（+3 cm位）  
冬は半分より少ない目（-3 cm位）

に浴そうへ水を張っていただくと適量な水位に沸きあがります。浴そうの水位確認ラベルを目安にしてください。

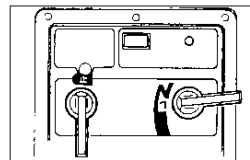


●はじめに

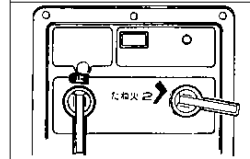
- ①給水元せんを開いてください。
- ②給湯せんを開けて水の出ることを確かめてください。確かめた後、給湯せんは開けておいてください。
- ③ガス元せんを全開して下さい。



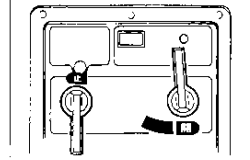
- ①ガスハンドルを「止」から「1」へ止まるまで回し、そのまま待ってください。電池による連続スパーク点火でパイロットバーナに点火し点火確認窓の針が「点火」を指します。ご注意 もし「1」の位置でパイロットバーナに点火していない時は「開」に回した直後点火確認窓の針が「消火」を指します。その時は、ガスハンドルを「開」から「止」へ戻し約10秒間待つて同様の操作をしてください



- 乾一番など時間を長くおいてご使用になるとパイロットバーナに点火するまで時間がかかることがあります。これは器具や配管中に空気が残っているためです。この場合は「1」で点火確認窓の針が「点火」を指しても、しばらく待ってください
- ②ガスハンドルを「2・たね火」へ戻し「開」へ回してください



- ③点火確認窓の針が「点火」を指してから約10秒待つて切替ハンドルの操作または給湯せんを開けてください
- ご注意：点火後すぐにご使用になりますとパイロットバーナの炎が消えることがあります。これは安全装置のため故障ではありません。（クイックセッター安全装置）



●飲料用、としてお使いのとき

器具内に長時間たまっていた水は飲料用に用いないでください。

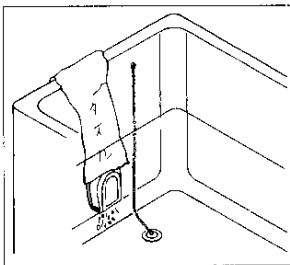
●給湯とふろの同時使用はできません。

●水圧が下がったとき

この器具は、点火するのに0.9kg/cm以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.9kg/cm以下にさがると、メインバーナーは消火しますが故障ではありません。(給水元せんは全開にしてお使いください。)

●フロアダプターについてのご注意

- ① 追いだき中はフロアダプターから高温水が出てきますので手足やタオル等を乗せないでください
- ② 追いだき開始時、泡とともに少し大きな音がしますが、使用上差し支えありません。

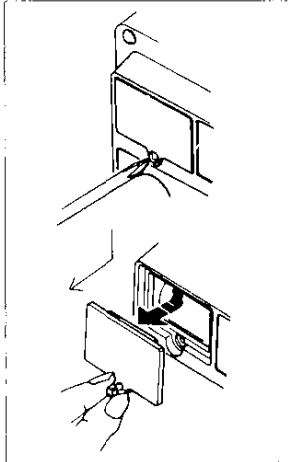


●乾電池交換のしかた

電池確認ランプが点灯しなくなりましたら、電池の交換をおこなってください

- 1 リモコンハンドル上部の電池ケースのカバーのネジをドライバーでゆるめてください。
- 2 ネジがゆるみましたら(ストッパーでネジは抜けません)、ネジをつまみ、下に引くようにしてから手前にカバーを取り外してください。
- ③電池ケースの古い電池を取り外し、新しい電池と交換してください。
- 4 カバーを取りつけ、ネジはしっかり止めてください。

①ご注意：防湿構造になっていますので、しっかりとネジを止めてください



●残り湯を追いだきするとき

残り湯が多いときは少し排水してから追いだきしてください。右図の様に水位が上りますので、浴そうの上から約25cmまで水位を下げ追いだきしてください。

② 切替ハンドルを「ふろ」へ止まるまで確実に回してください。

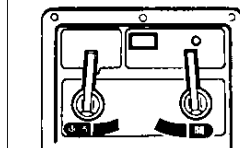
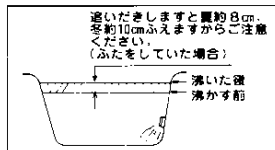
③ご注意：浴そうの水がないままで切替ハンドルを「ふろ」に回すと、安全装置が働いて追いだきは止まります。必ず浴そうの水位を確かめてから、追いだきを始めてください。

④ご注意：追いだき中は給湯せんを開けてもお湯は出ません。

⑤切替ハンドルを「止」の位置まで戻すと追いだきは止まり、約10秒間「ぬるい」の状態になってからメインバーナーの火は消えます。つぎにお使いになるときは、切替ハンドルを「ふろ」に合すだけでメインバーナーに着火して追いだきを開始します。

⑥ご注意：切替ハンドルを「止」の位置まで戻してから数秒間は追いだきをしますがこれは安全装置のため故障ではありません。そのとき、給湯せんが開いたままですと、数秒おくれて給湯口からお湯が出ますので、使用しないときは必ず給湯せんを開けてください。

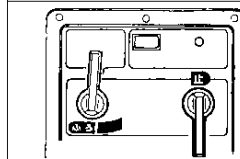
⑦ご注意：切替ハンドルを「ふろ」のままガスハンドルを「止」にするとフロアダプターから水が流れ放しになるのでご注意ください。



切替ハンドルを「ふろ」から「止」に戻してもしばらくの間加熱します。



給湯せんを開けたままではあふかない



パイロットバーナーは、ガスハンドルを「開」から「止」の位置まで戻すと消えます。

使い終わったあとはパイロットバーナーを必ず消火する習慣をつけてください。